

2018年10月23日

株式会社インターネットイニシアティブ

住友商事株式会社

先進農業に関する業務提携について

～農業にイノベーションを～

株式会社インターネットイニシアティブ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝栄二郎、以下「IIJ」）と住友商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員 CEO：兵頭誠之、以下「住友商事」）は、国内外の農業にイノベーションを起こすことを目標に、先端農業に関する市場調査、製品開発、製造および事業化に関する業務提携を締結（以下「本提携」）いたしました。

日本の農業就業者は高齢化が進み、65歳以上の高齢者が6割を超えています。また、後継者不足を背景に年々農業就業人口は減少しており、生産技術やノウハウの断絶も危惧されています。このような労働力不足を背景に、耕地の集約や農業法人の大規模化が進み、1経営体当たりの経営耕地面積は拡大基調にあります。

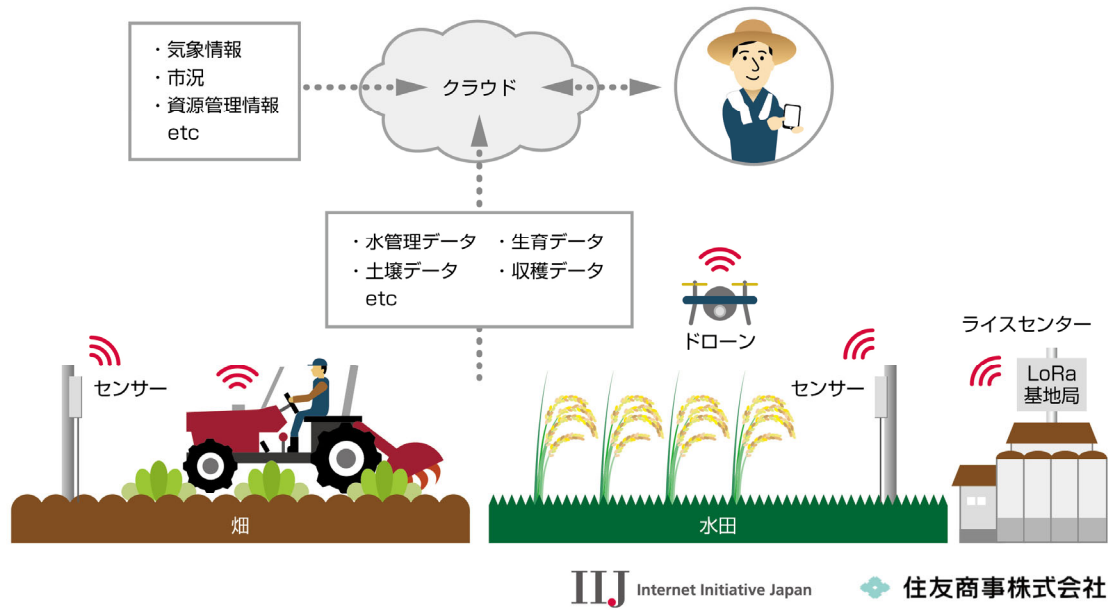
そのため、ロボットやドローン技術、ICT等を活用した農作業の省力化・軽労化や高品質生産など大幅な効率化に向けた取組が求められています。しかし、実際に多くの生産現場では環境整備の途上にあります。例えば、水田作における水管理については日々の水回り作業に多くの時間を要するほか、作物の品質や収穫量を維持するためにはきめ細かな対応が必要となりますが、関連するハードウェアの整備はあまり進んでいない状況です。

IIJと住友商事は、本提携を通じて、水稻・小麦・大豆・サトウキビ等を対象に、農作業の効率化やノウハウの可視化を実現するため、製品開発や製造販売に関する取組を推進します。まずは、農業生産者にとって使い易く安価な通信サービスの事業化に向け、住友商事が戦略的提携を発表（※1）したJAみやぎ登米管内において、LoRaWAN等のLPWA（※2）技術と各種センサーを用いた通信技術の実証を進める予定です。

IIJでは、IoTシステムを構成するネットワーク、クラウド、デバイスゲートウェイや、システムのセキュリティ確保など、あらゆるものを「つなぐ」ために必要な要素技術を土台に、生産現場から家庭まで様々なシーンにおいて技術開発に携わっています。

両社は、本提携により農業の効率化と生産者の利益を追求した新技術・製品・サービスの開発・展開を進め、国内外の農業を将来にわたり維持・発展させるための取組を加速させてまいります。

■ 提携イメージ



※1 2018年8月20日付「JA みやぎ登米管内における先端農業における戦略的提携について」

<https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/news/release/2018/group/10620>

※2 LPWA (LowPower, Wide Area) : IoT/M2M (Machine to Machine) に適した低消費電力かつ長距離通信を特徴とする無線通信技術です。LoRaWANはLPWAの一種である無線通信プロトコルです。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 荒井、増田

TEL : 03-5205-6310 E-mail : press@ij.ad.jp

住友商事株式会社 広報部 報道チーム 山脇、風間

TEL : 03-6285-3100